4
April 2017
No.730

熊歯会報

Kumamoto Dental Association

熊本県歯科医師会

CONTENTS

- 巻頭言（理事　宇治 信博）……3
- 理事会報告 ……4
- 役員等選挙の公示 ……6
- 平成28年度表彰受賞者紹介 ……8
- 委員会報告 ……9
  （社会保険、センター・介護）
- 熊本地震報告 ……11
- リレー投稿④ ……15
- 郡市会報告 ……16
  （菊池郡市、玉名郡市、球磨郡）
- 訃報 ……18
- 会務報告 ……18

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

３月12日に撮影した、熊本市立健軍小学校正門横の大寒桜（オオカンザクラ）の写真です。

快晴の空に満開の桜が映え、散歩で道行く人の心を和ませてくれています。

（T．M）

地域包括ケアシステムの実現に向けて

理事　宇治 信博

今期より、総務・医療連携担当理事を拝命いたしました。主にがん患者医科歯科医療連携事業、回復期医科歯科病診連携事業を担当させていただいております。会員の先生方におかれましては、日頃より医科歯科医療連携事業にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

さて、がん患者医科歯科医療連携事業は平成25年４月から連携が始まり、現在23の病院と2,902件（平成29年１月末現在）ご紹介をいただいております。現在２人に１人はがんになる時代と言われており、医療の進歩と早期発見により10年後の生存率も上がってきています。今後高齢者の増加に伴い、益々がん患者が増加し、周術期における口腔ケアの重要性が更に認識され、年々紹介患者数も増加していくことが予想されます。

つぎに、回復期医科歯科病診連携は今年度新たに２病院と覚書を交わし、平成26年度より1,387件（平成29年１月末現在）ご紹介いただいています。熊本県の地域医療構想の中に「病床機能の分化・連携に資する医科歯科連携に向けた体制作りを進めます。中でも回復期における連携推進のため、回復期医科歯科医療連携協議会を通じて連携の推進に向けた検討、人材育成、連携の必要性に対する県民の理解促進を図る普及啓発等を進めます。」という文言が入りました。近年、歯や口腔の健康は全身の健康と深い関わりがあることが明らかになり、益々医科歯科連携の推進が予想されます。口腔内環境が改善されれば食べられる口を作ることができ、リハビリの効果向上、早期離床にもつながります。今後県下全域の回復期病院との連携を目指していければと思います。その一方、日々の診療に追われ、自院の診療を犠牲にしてまで訪問診療できない先生方も多数おられると思います。世間のニーズと歯科業界の現状とのギャップがまだあるのも確かです。

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現する必要があると思います。

あの未曾有の熊本地震より１年が経とうとしております。被災された方々のために、「何ができるか？」と考えていたのが昨日のことのように感じます。超高齢社会を迎えている今、「歯科医師として県民のために何ができるか!!」それがこれから求められる歯科医師像だと思います。県民に平等な歯科医療提供ができるよう会員の先生方にご理解とご協力いただき、より多くの先生方にがん連携及び回復期連携事業の登録医になっていただけるよう尽力していきたいと思います。

理事会報告

日歯堀会長再選

― 第22回理事会 ―

２月22日（水）午後７時より県歯会館において、浦田会長他全役員、伊藤学院長の出席のもと開催された。

１．開会：宮坂副会長

２．挨拶：浦田会長

先週、日歯会長予備選挙の投票が締め切られ、開票作業の結果、現会長の堀憲郎先生が絶大なる支持を得て当選されました。日歯会長予備選挙が始まって以来候補者１名の投票というのは初めてのことでした。９割以上の得票があったということで、堀先生も感慨深げでした。この１年、現執行部がしっかりと行ってこられた事業計画に対して皆さんから信任を得た結果だと思いますし、引き続き歯科医療界の発展のために頑張っていかれると思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

さて、本県におきましては、地域医療構想第６回検討委員会が開催されました。大筋、原案が出来上がり、原案をもとにパブリックコメント等の意見を取り入れて３月中に完成される予定です。地域医療構想策定後、調整委員会を立ち上げ計画を進めていくということですし、第７次県保健医療計画も医療構想に従って作成が始まるということですので、しっかりと歯科医師会として対応をしていきたいと思います。何はともあれ今年度もあと一ヶ月余りとなりました。この理事会も３月の代議員会に対応する内容が主となり、議長・副議長にも同席していただき最終的な日程資料を決めていきたいと思いますので、どうか慎重審議をお願いいたします。

３．議長選出：浦田会長

４．議事録署名人：久々山監事、西野監事、浦田会長

５．会務報告：

（自：１月23日～至：２月19日）

本会総務：理事会、常務理事会

社会保険：日歯社会保険委員会

医療対策：医療相談・苦情事例報告

センター・介護：障がい者歯科保健推進協議会、介護者歯科実技研修会

総務・医療連携：がん診療医科歯科連携運営協議会

以上、各担当役員より報告がなされた。

６．報告事項：

１．退会会員

●三角 洋介　会員（第１種/熊本市）

１月31日付　自主退会（閉院のため）

２．県知事表彰

●伊藤 明彦　会員（菊池郡市）

※熊本市推薦…

清村 正弥　会員、

宮本 格尚　会員（熊本市）

表彰式：３月10日　於・県庁

３．平成28年度会員表彰

境 義紹　会員（熊本市）他17名を、３月の臨時代議員会時に表彰する。

４．県警察本部からの「防犯カメラの設置」の勧奨

県警本部担当者からの防犯カメラ設置必要についての説明があり、各郡市会長・専務理事連絡会議の出席者に対して会員への設置勧奨に対する協力の依頼がなされた。

５．新樹会入会案内のチラシ同封依頼

３月の全会員発送時に同封する。

6．委員会事業企画
- ●センター・介護委員会：4月2日(日)「災害時における障がい児（者）への歯科支援活動の為の研修会」(後援)

7．委員会事業実施報告
- ●社会保険委員会：1月29日(日)「社保講演会（ＳＰＴの学術的留意点、保険請求)」
- ●厚生・医療管理委員会：1月14日(土)「医療管理講演会」

8．会計1月末現況

7．連絡事項：

1．3月行事予定

2．平成29年6月行事予定

6月17日の定時代議員会の開催時間を午後2時からに変更し、同日、午後4時45分から連盟臨時評議員会を、午後6時から国保臨時組合会を開催予定とする。

8．承認事項：

1．外部からの会館使用申込〔承認〕
- ●熊大医学部附属病院歯科口腔外科「口腔ケアセミナー」

2．関係機関・団体から役員等の推薦依頼〔承認〕
- ●県生活保護医療扶助業務に従事する歯科嘱託医／県長寿社会局社会福祉課　西野　隆一　監事　任期：平成29年4月1日～平成30年3月31日

3．日本災害時公衆衛生歯科研究会主催の講演会への後援依頼〔承認〕

4．第16回警察歯科医会全国大会の出席者〔承認〕

担当理事連絡協議会には牛島常務理事が、全国大会には浦田会長、渡辺専務理事、牛島常務理事が出席することとした。

9．議題：

1．平成28年度本会会計収支補正予算書(案)〔承認〕

県委託・補助事業に対する補正予算案を承認し、3月の臨時代議員会へ提出することとした。

2．平成28年度臨時代議員会日程資料〔承認〕

3．平成28年度臨時代議員会会務報告〔承認〕

一部文言等を修正し代議員会に提出する。他に修正等があれば、翌日までに事務局へ連絡することとした。

4．平成28年度臨時代議員会タイムスケジュール〔承認〕

5．会館の補修工事〔承認〕

4階ホール天吊りプロジェクター支柱及び天井の補修、3階床補修について実施することを承認した。

6．熊本地震に係る会費・共済互助負担金免除会員の認定（追加)〔承認〕

1名の会員の会費免除、共済互助負担金免除の追加を承認した。

7．熊本地震に係る見舞金の追加支給〔承認〕

50名の会員の追加支給について承認し、見舞金を支給することとした。

8．本会定期便に係る同封物取り扱い基準内規一部改正（案)〔承認〕

原案どおり承認した。

9．熊本地震に係る本会共済互助給付金支給〔承認〕

大規模半壊については、規定どおり半壊として支給することとした。

10．口腔保健センターの運営（診療体制)〔承認〕

現在の週4日診療から、週6日診療体制を実施できるよう前向きに検討するとともに、問題点を解消したうえで実務化することとした。

11．「歯科器具使いまわし」記事に関する会員への周知〔承認〕

会員へ周知することとするが、周知文書については再度検討することとした。

12．日歯見解の保健所が行う立ち入り検査項目

情報提供を行うか検討することとし、中規模県連合会の会議でも各県に対応を伺うこととする。

13．日銀熊本支店との「個人情報取扱に関する念書」の取り交わし〔承認〕

提示のあった念書については了承し、取り交わすこととした。

10．協議事項：

11．監事講評：

12．閉会：小島副会長

（広報　竹下 憲治）

平成29年４月５日

選挙権者　各位
被選挙権者　各位

熊本県歯科医師会
会長　浦田　健二

役員等選挙（理事、監事、日歯代議員および日歯予備代議員の選任）の公示

役員等の任期満了に伴い、平成29年６月17日に開催する定時代議員会終結時から平成31年６月開催の定時代議員会終結時までの任期の理事・監事、平成29年７月１日から平成31年６月30日までの任期の日歯代議員及び日歯予備代議員の選任について、役員等選挙規則、会長予備選挙及び役員等選挙実施要領により次の通り公示する。

【役員等選挙共通】

１．選挙の時期

役員等選挙は、平成29年６月17日（土）に開催する定時代議員会において行う。

２．選挙の定数　理　　事　15名以上20名以内
監　　事　２名以内
日歯代議員　２名
日歯予備代議員　２名

３．被選挙権者の資格

選挙日において正会員として２年以上在籍した者

４．届出に必要な書類

（１）理事の選任に関する届出は、次の「理事の選任」に示す。
（２）監事の選任に関する立候補の届出は、次の「監事の選任」に示す。
（３）日歯代議員及び日歯予備代議員の選任に関する立候補の届出は、次の「日歯代議員及び日歯予備代議員の選任」に示す。

なお、会長予備選挙及び役員等選挙実施要領に規定する書類が必要。

【理事の選任】

１．会長予備選挙の当選者による届出

会長予備選挙で当選者となった者は、「会長予備選挙及び役員等選挙実施要領」で規定する様式に基づいて、理事候補者（会長予備選挙当選者を含む）の名簿及び候補者ごとの誓約書等を選挙管理委員会に提出する。その場合の届出期間等は次の期間とする。

（１）届出用紙の配布
①配布期間　自　平成29年４月13日（木）
至　平成29年４月21日（金）
※ただし、土日祭日は除く。
②配布時間　午前８時30分から午後５時まで
③配布場所　熊本県歯科医師会館

（２）推薦の届出
①届出期間　自　平成29年４月24日（月）
至　平成29年５月２日（火）
※ただし、土日祭日は除く。
②届出時間　午前８時30分から午後５時まで
③届 出 先　選挙管理委員会

２．代議員による届出

代議員は、「会長予備選挙及び役員等選挙実施要領」に基づき、代議員２名以上の賛成者を得て、役員の選任に関する議案の要領を代議員に通知することを請求できる。その場合の届出期間等は次の期間とする。

（１）届出用紙の配布
①配布期間　自　平成29年４月13日（木）
至　平成29年４月21日（金）
※ただし、土日祭日は除く。

②配布時間　午前８時30分から午後５時まで
③配布場所　熊本県歯科医師会館
（２）推薦の届出
①届出期間　自　平成29年４月24日（月）
　　至　平成29年５月２日（火）
　　※ただし、土日祭日は除く。
②届出時間　午前８時30分から午後５時まで
③届 出 先　選挙管理委員会
３．候補者の辞退期限
平成29年６月７日（水）午後５時まで
４．代議員会議場内での選挙
①平成29年６月17日（土）に開催する定時代議員会議場内において投票。
②選挙権者　代議員

【監事の選任】
１．届出用紙の配布
①配布期間　自　平成29年５月15日（月）
　　至　平成29年５月25日（木）
　　※ただし、土日祭日は除く。
②配布時間　午前８時30分から午後５時まで
③配布場所　熊本県歯科医師会館
２．立候補の届出
①届出期間　自　平成29年５月26日（金）
　　至　平成29年６月２日（金）
　　※ただし、土日祭日は除く。
②届出時間　午前８時30分から午後５時まで
③届 出 先　選挙管理委員会
３．立候補者の辞退期限
平成29年６月７日（水）午後５時まで
４．投票方法
平成29年６月17日（土）に開催する定時代議員会議場内において投票。
５．選挙権者　代議員

【日歯代議員及び日歯予備代議員の選任】
１．届出用紙の配布
①配布期間　自　平成29年５月15日（月）
　　至　平成29年５月25日（木）
　　※ただし、土日祭日は除く。
②配布時間　午前８時30分から午後５時まで
③配布場所　熊本県歯科医師会館
２．立候補の届出
①届出期間　自　平成29年５月26日（金）
　　至　平成29年６月２日（金）
　　※ただし、土日祭日は除く。
②届出時間　午前８時30分から午後５時まで
③届 出 先　選挙管理委員会
３．立候補者の辞退期限
平成29年６月７日（水）午後５時まで
４．投票方法
平成29年６月17日（土）に開催する定時代議員会議場内において投票。
５．選挙権者　代議員
６．無投票当選
候補者が定員を超えない場合は、投票を行わないでその候補者を当選とする。

受賞おめでとうございます

死亡叙勲・叙位

（瑞宝双光章）（従六位）
故 木村 義浩 会員

叙　勲

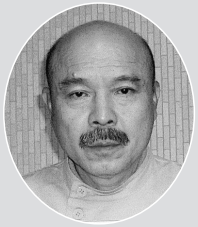
瑞宝双光章
緒方 史朗 会員

旭日双光章
牧野 敬美 会員

厚生労働大臣表彰

勇　励 会員

文部科学大臣表彰



（学校保健及び学校安全表彰）
田代 正博 会員

（第80回全国学校歯科保健研究大会記念）
原賀 滋久 会員

日本歯科医師会会長表彰

中村 進 会員

熊本県知事表彰

伊藤 明彦 会員

清村 正弥 会員

宮本 格尚 会員

日本学校歯科医会会長表彰

齊藤 健 会員

椿 幸雄 会員

熊本県高等学校保健功労者表彰

古賀　明 会員　　熊埜御堂 渉 会員　　冨永 祐司 会員

熊本県学校保健功労表彰

菅原　洋 会員
津野田 稔 会員
立花 泰裕 会員
中原　孝 会員
弘中 一郎 会員
澤村 克彦 会員
山口　透 会員
前田 章二 会員
前田 秀一 会員
武市 功雄 会員

委員会報告

この時だからこそ口腔ケア・口腔リハビリを！

― 介護者歯科実技研修会 ―

センター・介護

２月11日（土）人吉会場（中小企業大学校人吉校）、12日（日）八代会場（熊本総合病院）にて、要介護者及び介護者に係る医療従事者を対象とし、くるりーなブラシ考案者の神奈川県茅ケ崎市開業の黒岩恭子村田歯科医院院長をお招きして、「この時だからこそ口腔ケア・口腔リハビリを！口腔ケア専用ブラシを使用した口腔ケア・口腔リハビリ方法」を演題に研修会が行われた。

11日（土）の人吉会場では63人、八代会場では80人の参加で歯科医師、歯科衛生士をはじめ医師、看護師、介護士、栄養士など他職種に渡り多くの方に参加いただいた。

人吉会場では中原人吉市副会長、八代会場では水上八代会長から挨拶後、研修会が始まった。黒岩氏よりこの数年、患者さんの全身症状が重度化の傾向にあり、それとともに口腔環境の悪い状況が見受けられる事が多くなったと話された。この状況は疾病・障害・薬の副作用や認知症などが口腔に影響し、剥離上皮が粘液や食物残渣と共存して口腔内に付着し、細菌が繁殖しやすく口腔乾燥をきたしているのが原因との事だった。

以上のような状況で苦しんでいる患者さんを簡単に口腔ケア・口腔リハビリが行えて、成果があがり維持することができる口腔ケアの方法と飲食できることを可能性にする口腔ケアの大切さについて事例を交えて話された。

口腔乾燥症を疑似体験しての相互実習

後半は実習が行われ、オブラートを口の中に数枚入れ口腔乾燥状態の患者さんの口腔内を再現し、その状況で話す・食べることの困難さ、不適切な姿勢での食べづらさを体験した。その後十分な保湿剤を併用しながらモアブラシを使って、口腔内を傷つけないよう清掃し相互実習を終了した。会員や他職種の方も身を持って口腔乾燥状態を体験したことで、戸惑いながらも熱心に講師に実技指導を仰いでいた。今回の実技実習でのノウハウが、食事困難の患者さん、そして支援される方の役に立つことを願う。

（センター・介護　平井 淳也）

委員会報告

障がい児（者）歯科の連携と周知徹底を

― 県障がい児（者）歯科保健推進協議会 ―

２月18日（土）午後２時より県歯会館にて標記協議会が開催され、県議団、市議団をはじめ関連の行政機関、医療機関、施設団体、保護者会及び本会担当者が一堂に会した。

冒頭挨拶に立った小島副会長は、昨年の熊本震災時の障がい児（者）対応で浮き彫りになった課題や口腔保健センターの運営収支に触れ、山積する課題はあるが「後ろ向き」な対応は払拭し、一歩二歩と前進すべきと積極的な姿勢を求めた。次に挨拶に立った藤川県議は介護・薬剤を統括した医療情報ネットワークの構築を整備中であり、歯科医師会へ積極参画を要請された。また三島熊本市議より廃止が取り沙汰された熊本市民病院歯科口腔外科の存続が決した旨の報告があった。

田上常務理事を議長に選出後、松岡センター長より現況報告があり、受診者数は漸増傾向にある一方、収支の改善が無く補助金や本会からの繰入金に依存せざるを得ない運営実態が明らかにされた。また、県南地域での対応現状や、センター常勤歯科医の配置案について質疑が交わされた。

協議に移ると、本センターで障がい児（者）歯科治療や口腔ケアに対応している事を知らない方も多いと、周知活動の不足を指摘する声が各保護者団体から相次いだ。また在宅患者への対応も検討して欲しいとの要望があった。各療育施設団体からも入所者に比べ、通所利用者への対応や情報提供が十分ではなかった点が報告された。

三次医療機関からは、主に全身麻酔下での歯科治療について言及があった。この中で全麻に際しては予防や口腔ケアの徹底が基本であり、かかりつけ医との連携を密にし綿密な治療計画を立てておく必要があると指摘された。これに関連し、太田熊本市民病院歯科口腔外科部長は、熊本市作成の「障がい児（者）受け入れ可能な歯科医院」と三次医療機関を案内したパンフレットが好評だった事が紹介され熊本県でもぜひ作成して欲しいと要望があった。これを受け伊豆野県障がい者支援課審議員はパンフレット作成については持ち帰り検討したいと発言した。

懸案となっている口腔保健センター運営補助金に関して、浴永県医療政策課主任技師からは継続して実施していくとの回答がなされたが、神永熊本市障がい保健福祉局課長は熊本市の補助金に関しては明言を避けた。

松本理事は、「障がい児（者）受け入れ可能な歯科医院」のデータベースを刷新し情報の周知に努め利用者のニーズに答えていきたいと発言した。

最後に浦田自民党県議団厚生部会長は昨年の熊本地震に触れ、口腔ケアの重要性にあらためて気付かされたとし、本日の協議内容をまとめ今後の対応に生かしたいと締めくくった。

（センター・介護　規工川 浩）

委員会報告

歯周治療におけるＳＰＴの重要性

― 社会保険講演会 ―

社会保険

１月29日（日）午前10時より県歯会館４階ホールにおいて、「ＳＰＴの学術的留意点、保険請求」という演題の講演会が200人を超える受講者を集めて開催された。

中嶋副会長から残存歯数の増加とポケット４㎜以上の保有者の増加、修復や補綴処置の減少という今回の講演会の趣旨説明を兼ねた挨拶のあと、熊本市東歯科医院の東克章院長を講師としてお迎えし、歯周病についての講演が始まった。

内容としては、歯周病の病態や原因について、診断方法や治療に関しての概要、メンテナンス治療の必要性および重要性などであり、特にメンテナンス治療に関しては行った群とそうしなかった群の比較資料などを提示されＳＰＴの重要性をわかりやすく説明された。

また歯科衛生士が歯周治療においても重要な役割を占めていることをあげられ、歯周治療はＳＰＴを行いながら長期の経過を追っていかねばならない疾患であるということも話された。

歯周治療はＳＰＴ抜きでは成り立たないことを強調され、ＳＰＴの間隔を決定するための因子としては

１．患者の年齢と歯周崩壊度
２．リスクファクターの有無　喫煙、糖尿病、自己免疫疾患……
３．患者の口腔清掃への協力度合い
４．十分なプラークコントロールの阻害因子、大型のブリッジ等

歯周病の病態や原因について話される東講師

５．う蝕活動性、根面カリエス

などを示された。

ＳＰＴの頻度と歯周病の進行度の研究資料を提示されるとともに、ＳＰＴ時に行うべきことについても説明があった。

続いて、清水社保委員会委員長より歯周治療およびＳＰＴがなぜ重要になってきているのか歯科疾患実態調査を資料に説明され、ＳＰＴについての説明、今回改訂でのＳＰＴ算定要件の変化と点数説明、請求時の注意点の説明が行われた。

カルテ記載についても説明が行われ、最後にＱ＆Ａ形式にて検査や処置、中断や初診おこしに関しても細やかな説明がなされ講演会は終了した。

以上、合わせて２時間30分の講演だったが非常にこれからの歯科医療に重要になってくるであろうポイントを得た講演会であった。

（社会保険　園田 隆弘）

熊本地震報告

『熊本地震における伊東歯科口腔病院の地域の中での避難所活動と地域歯科支援病院としての救急医療と後方支援歯科診療』

地域歯科診療病院　伊東歯科口腔病院　歯科衛生士部長　中村 昌代

熊本地震で被災された皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。また、全国から心温まる数多くのご支援をいただき、誠にありがとうございます。

はじめに：

熊本市中央区に位置し震源地からおよそ十数キロ離れた、伊東歯科口腔病院も４月14日（木）午後９時26分震度７（M6.5）の前震と16日（土）午前１時25分の本震の震度７（M7.3）、その後の余震と被災し、不安の中に貴重な経験をした。今回、地域歯科支援病院としての地域避難所と歯科医療後方支援活動を報告する。

４月14日（木）午後９時26分

震度７の揺れ、今まで経験したことのない大きな揺れに恐怖とただ事ではない！と感じた。調べ物で遅くまで仕事をしていた私は、即座に夜勤のスタッフと数名のスタッフとで、入院患者の病室へ走り、入院患者の全員無事を確認した。スタッフ自身にも人的被害がないことを確認した後、建物全体の被害を確認するため各診療室、手術室、レントゲン室、待合室等を見て回った。診療室内は、パソコンのモニターの破損、キャスター付きの器材や収納棚の移動や棚の引き出しが飛び出していたが、大きな備品の破損は多くはなかった（写真１）。

（写真１）地震直後のナースステーション

しばらくして、病院の近辺に居住しているスタッフも駆けつけ、理事長、副院長とともに館内、建物の外の見回りを行い、被害の状況を確認して回った。私たちは、会議室に残りテレビにて地震情報を得ながら、その後の余震に怖さと緊張感を感じていたが、入院患者、スタッフが無事であることを避難中の院長に連絡した。スタッフ同士も携帯電話のラインを利用しお互いの無事と居場所を確認した。

４月15日（金）

午前８時から会議室にて緊急ミーティング。今日の診療をどうするか検討した。幸いなことに、建物、診療室の被害も少なく、ほぼ全スタッフが出勤していたので通常通りの診療体制でいくことを決定した。しかし、週末に行われる予定の新人研修は（阿蘇にある宿泊施設「アソシエイト」）、スタッフの安全を考え、中止と判断。歯科訪問診療に関しては、訪問先に連絡し受け入れ可能なら訪問することにした。すべての訪問先は、「訪問してほしい」との返事だった。

訪問先の施設によっては、断水やエレベーター使用不可で多少の支障はあったが、無事に終了した。もちろん、当院の外来診療も無事に終了。前日の地震でほとんどのスタッフが寝不足や精神的不安のため、委員会活動などは中止し早めに帰宅した。

４月16日（土）１時25分　本震　震度７（M7.3）

14日（木）の地震による疲労のなか１日の診療を終え安堵していたところに、１時25分震度７（M7.3）。

後日、この地震が熊本地震の本震とされた。私も慌てて、避難リュックを背負って、伊東歯科口腔病院に向かう。避難の際に、一夜ども公園の前の歩道を（落ちてきた公衆トイレの瓦が歩道をふさぎ危険な状況）車いすの高齢の男性とそれを押し避難しようとしている高齢の女性、その夫婦を手助けしている学生に、「伊東歯科に避難した方が今は安全ですよ」と声をかけ一緒に避難。

周囲は停電で暗闇の中、自家発電で灯りのついている伊東歯科口腔病院の１階フロアには、地域の方々も含めて寄り添うように60～70名集まっていた。３階ナースステーションは、椅子や棚、備品が倒れ、無残な状況であったため、夜勤スタッフや入院患者も３階の病棟から１階へ避難していた。外は深夜でもあり気温が下っていたため、自宅から避難してきたスタッフは、駐車場に避難していた方々にも声をかけ館内に避難するよう声をかけ誘導した。子供から高齢者、ペットのウサギや柴犬までも。

みんな不安と体験したことのない事態に１階フロアのテレビの情報にくぎ付けであった。そのような中で病院の備蓄の水（ペットボトル）を手渡し、入院患者用の毛布を子供や高齢者に配布した。中には、携帯用の酸素ボンベを使用している高齢者もいた。

本人、家族に「携帯用酸素はあとどれくらい大丈夫なの？」と尋ねると「あと、１時間ぐらい」、酸素が切れては危険ということで病院の酸素ボンベに接続した。避難してきた地域の方々、スタッフはお互い助け合いながら、言葉を交わしながら、みんなで一緒にいることで今後の不安もあるが安心感を得ていたことも確かと思われた。（写真２、３）

午前３時ごろから、理事長、副院長、スタッフで病院の施設を懐中電灯の明かりで一つ一つ点検、コンプレッサー室、マニホールド室、貯水槽、外壁などを眼で確認、匂いの確認、音の確認、破損がないことを確認して回った。破損や故障もなく安心したが、１階の排水溝に激しく水が流れ出している音に理事長が気付いた。水漏れか？原因は何か？屋上のタンクからか？すぐに屋上に上がりタンクを確認すると、激しく水が漏れだしている。原因はわからなかったが、とにかく貴重な水！これからどうなるかわからない状況、漏れ出した水をバケツに注ぎ、スタッフでバケツリレーし１階の屋根付き駐車場へトイレ用にと確保し院内のすべてのごみ箱に水を溜めた。後になって水が漏れ出した原因は、地震の揺れでタンクのボルトが緩んだことと判明した。この間も余震が頻発していた。

（写真２）１階待合室

（写真３）１階フロア

４月16日（土）午前５時30分

市役所防災課に総務スタッフが電話連絡し食料を分けてもらえないか相談し、受け取りへ。パン60袋、お茶（ペットボトル）28本、缶コーヒー24本を受け取り、すぐに避難されている方々に配布した。

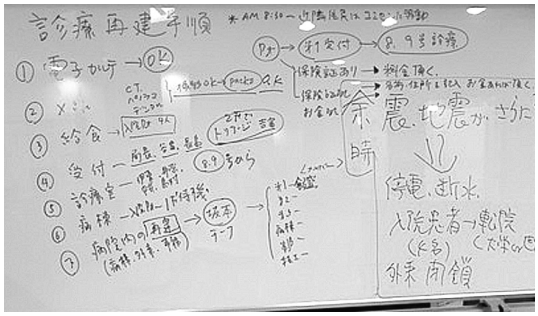
４月16日（土）午前６時00分

理事長はじめスタッフは、３階会議室で緊急ミーティング。スタッフの被害状況は？今日の診療は？これから、病院としてどう動くか！早急に決定しなければならなかった。理事長が方針を決定。それはいち早く平常に戻すこと！被災し口腔外傷も増えるのではないかと考え、数名のスタッフにより第１診療室の２台の診療台を診療が出来るよう整え、病院に避難しているスタッフの中からすぐに勤務できるスタッフ、夜勤に入れるスタッフを決めなければならなかった。それ以外の多くのスタッフは一旦帰宅し家族の安否確認や自宅の被害の確認を行った。

４月16日（土）午前８時30分

避難されている方々には、黒髪コミュニティーセンターへ移動して頂き、急患対応がすぐに出来るように準備をすすめた。入院患者の安全確保のため３階の病室は危険と判断し看護師は、１階待合室に、簡易の入院室を作り入院患者のケアにあたった。また、配膳室スタッフにより備蓄食料の提供がなされホテルキャッスルよりおにぎり、ゆでたまご、100人分を分けてもらった。

その後、地震で16日の夜勤のスタッフが出勤できない、日曜日の日勤スタッフも夜勤も出勤できない状況のため、病院に避難しているスタッフで急遽対応することにした。システム開発室のスタッフに電子カルテのシステムに問題はないかを確認作業してもらい、問題なく使用出来る事を確認した。ホワイトボードを２階の待合室に設置し、スタッフの配置や緊急連絡事項を記載し誰もが見て分かるように準備した。各部署で携帯電話のラインで安否確認や連絡に利用した。この日から、勤務できるスタッフは交代で仮眠をとりながら診療や水の確保や食料の調達、館内の片付け、16日の予約の患者さんからの電話対応に追われた。このような中、急患として数名の受診があった（写真４）。



（写真４）情報共有のホワイトボード

４月16日（土）～17日（日）夜間帯（朝方まで）

夜間も数名の急患が受診。その中には、１時30分頃、名古屋から地震の取材できた記者の方が後出血で来院され、当院が災害時も診療し対応したことに対し感激された（写真５）。

（写真５）急患対応

４月17日（日）午前７時

黒髪のポプラが営業しているということで、水や食料の調達へ。伊東歯科口腔病院には、入院患者やスタッフが多くいるということでオーナーさんの配慮でカップラーメン等を箱ごと譲って頂いた。また、ほっともっとのお弁当屋さんからも配慮いただき食料を譲り受けた。その後、黒髪小学校で給水があるとの情報にて、数名のスタッフが並び水を確保へ。

４月17日（日）午前８時15分

理事長をはじめ院内に残っているスタッフでミーティング、18日月曜日以降の対応を検討し通常にもどすため診療再開に向けスタッフの召集をかけ、出勤できるスタッフで作業開始。そのころ、市役所より伊東歯科口腔病院へ電話連絡があり歯科の緊急病院として急患対応の依頼を受けた。昼間も途切れることなく、急患の受診あり。熊本市から緊急病院として指定されたものの、水がなければ診療できないため、熊本市市役所内の「危機管理防災総室」へ連絡し、貯水タンクへの給水を依頼した（写真６）。

（写真６）自衛隊より給水

断水していない地域に居住するスタッフ宅から、水を確保させていただき歯科医師、事務スタッフで水の運搬を行い、18日からの診療や生活用水に利用するための準備を行った。

４月17日（日）午後２時から夜間帯（朝まで）

ほとんどのスタッフの自宅も被災しているため、午後２時に再度ミーティングを行い状況確認や今後を確認し解散した。その後自衛隊からも給水車にて給水。もちろん、消防署も、自衛隊も当医院だけの給水はできないとのことで４トン、８トンの使用最低限の給水にとどまった。夜は激しい雨、すぐに雨水もトイレ用に確保した。夜中も雨が降り続き、雨もり、水漏れあり。

総務スタッフは夜中じゅう、雨漏り対策に翻弄され、一睡もせず館内の修理にあたってもらった。雨もり、水漏れは、地震の影響で排水用の管が破損したためであった。

４月18日（月）できるかぎり通常診療へ

ほとんどのスタッフが出勤。患者さんはキャンセルも多かったが初診の患者は多く来院された。主任以上スタッフは、午前８時、午前11時、午後４時とミーティングを行い、来院患者の状況確認とスタッフの状況（スタッフは、怪我はないものの精神的には、ストレスを受けていたようで体調を崩す者、精神的に不安定になるものもいたため）を報告し今後の検討を行った。午後には、遠方であることや体調や自宅の損壊状況に考慮し数名のスタッフを帰宅させるなどの対応をとった。

また、黒髪コミュニティーセンターへ避難されている方へ、歯ブラシと洗口剤を誤嚥性肺炎の予防や口腔衛生に使用してほしいと届けた。病院のトイレは開放し、地域のみなさんも使用して頂いた。もちろん断水のため雨水や屋上のタンクから漏れた水を使用した。

４月19日（火）

夜間には、病院に避難している歯科衛生士で伊東歯科口腔病院全歯科衛生士のライングループを作成し、情報の共有を行った。

４月19～20日までは、18日と同様の体制をとった。

４月20日（水）

分院である、浜線のゆめタウンにあるいとう歯科医院が被災し診療が出来る状態ではないため、ゆめタウンいとう歯科医院スタッフは伊東歯科口腔病院へ出勤した。そして、ゆめタウンいとう歯科の患者の連絡を受け、こちらから連絡を取り子飼の病院へ来院できる方の治療にあたった。被災された歯科医院からも応急処置の依頼を受けることや、通院中の歯科医院と連絡がとれない患者さんからの治療依頼があった。

４月22日（金）

震災後１週間になるころには、外来患者も震災前の数に戻りつつあったが、震災で保育園から高校まで休校とのことで子供がいるスタッフが出勤できない状況になった。子供がいるスタッフも出勤できるように、安全性や法的な事情を相談したうえで保育士さんを確保し黒髪コミュニティーセンターで子供たちを預かることが出来ないかの検討も行った。しかし、スタッフの家族の協力で、子育て支援のスタッフやパートの方も出勤できるようになり実際にはこの取り組みの実現はなかった。

そのような中、４月末には、外来患者数は平常に回復し28日には、全身麻酔下での手術を再開することが出来た。

終わりに：

熊本地震を経験し伊東歯科口腔病院として今後の反省へつなげなければならない。まさか！震災に襲われるとは考えてもいなかったというのが正直な気持ちである。南阿蘇や益城町のような被害の大きい地域へは震災直後から、熊本県歯科医師会の先生方、九州各県からまた全国から支援活動が行われていた。伊東歯科口腔病院のスタッフも現地に入り歯科支援をしたが、伊東歯科口腔病院は熊本の２次医療機関として救急歯科診療、地域歯科支援病院として後方支援の役目を果たすことが重要と考え活動した。しかし、今となって振り返ると、熊本県歯科医師会ともっと強固に連携がとれていたなら、さらに、多くの患者や歯科医師会の先生方に対し歯科支援が出来たのではないかとも考える。

震災後、いち早く診療を再開することが出来たことは、自分たちも被災しながら18日（月）にはほぼ全スタッフがそろい、『平常に戻る』ことを目標にし、休日返上で熱意をもって自分たちのやるべきことが出来たことと、理事長、院長のリーダーシップの下、状況を見て冷静に判断し取り組んだことで一早く復旧できたと考える。これは、毎日共に働く仲間と一緒に診療することが出来たことでの安心感と助け合いの心があったからこそと思う。

また、役員には、スタッフに対し水、食料の１日３食分を毎日確保して頂いた。避難所として病院の開放、スタッフの子供のための一時預かりの場所と保育士確保への取り組みに感謝である。

後日、大西一史熊本市長から感謝状が届いたこと、そして何より地域の皆様から多くの感謝の言葉やお礼のお花が届いたことは、伊東歯科口腔病院に勤務するすべてのスタッフにおいて何よりも嬉しいことであった。これからも熊本県歯科医師会や地域の皆さんと共に、地域歯科診療支援病院としてスタッフ一同取り組んでいきたいと考えている。

リレー投稿④

「走る」

熊本市　宮田 正孝

第一回熊本城マラソンの頃から走り始めた。

お陰で12kgほど痩せて健診の検査結果も改善し、出走したマラソン全てを無事に完走。今でも10㎞の朝練が日課となっております。特に寒い朝に着替えるのには気合が必要ですが、汗だくで帰宅しシャワーを浴びると爽快です。正月休みに実家のある佐世保市へ帰省しました。小学校や中学に通う甥に再会します。小さい頃は一緒に野球盤など古典的ゲームで遊んでおりましたが、成長に伴ないPS・DSなどゲームへと変わり交流が保ち辛くなってきました。そこでマラニックに誘い出かけることにしました。それはマラソンとピクニックを合わせた造語で、休憩で飲食をはさみながら長い距離を楽しんで走るというものです。今回は商業施設で食事することを目標に出発しました。５㎞進んでジュース・サンドウィッチやドーナツを楽しみ。また走り出し、５㎞進んでコンビニで飲み物といった具合です。今回はちょっと頑張って坂道４㎞を上る弓張岳（364m）に初挑戦。バテて足が止まる小４男子を励まし進みます。「歩いているといっちょん進まんバイ！」ゆっくりでもよいので走るよう諭します。なんとか上り着いて見渡す展望台で景色を楽しみながら自分の脚で上ってきたことに満足感がこみ上げます。甥っ子たちも何だか嬉しそうな笑顔をみせてくれます。あとは軽快に下り、目的地である商業施設へ到着。18.5㎞の旅が終わりました。汗ばんだシャツを着替え彼らが好きなたこ焼き屋さんでハフハフさせながら食べる顔をお互いに見て笑い、レストランで「よく頑張った！何でも好きなもの食べていいぞ。」と彼らの健闘を讃えると、嬉しそうにメニューを見まわします。兄夫婦からは忙しい時に子供と離れる時間が出来て喜ばれ、甥っ子たちも満足気。迎えに来てくれた車の中では二人とも疲れ果てて熟睡。ゲームばかりの冬休みが変わりました。後で聞いた話ですが、冬休みの日記を楽しそうに書いていたそうで、それを見た担任教諭より「スゴイな～」と褒められ喜んでいた事を知りました。

九十九島をバックに
（弓張岳展望台）

歯科医師会の飲み会より始まった私のランですが、今では甥っ子たちとのコミュニケーションツールともなりました。メタボ体型の私を見放さず根気強く指導して頂いたマラソン師匠である奥田良樹会員に深く感謝いたします。また、一昨年より35年ぶりに単車に乗り出しました。流行りのリターンライダーです。車と違い人馬一体の感覚で気持ちよくコーナーを曲がり風を感じ走ることができます。映画MIローグネイションではなく、MADMAX世代なのでカワサキ４気筒が憧れでありましたが、購入したのは30年前のGB250クラブマン。キャブ車の単気筒でキャプトンマフラーが奏でる心地よい排気音です。しかし乗っている者にはエンジン音しか聞こえません（笑）振動で手が痺れる、尻が痛くなる事もあります。単車の楽しみ方をご教示頂いた先輩に感謝いたします。「走る」ことで生活が変わり、楽しみ方も変わってきた今、次の楽しいことが待ち遠しいです。そういう訳で次の投稿は大学先輩であり、熊歯旧車会筆頭・渡辺洋会員にお願いします。

グリーンロードにて

楽しいツーリング

菊池郡市歯科医師会

新年の幕明け

— 新年会 —

１月21日（土）ホテル日航熊本にて、新年会が催された。

高木副会長の開会の辞、宮川会長からの挨拶の後、来賓の渡辺県歯専務理事、池田県菊池保健所所長、坂本衆議院議員秘書の帆保氏（代理出席）より挨拶を頂いた。

城専務理事より会務報告ののち、新入会員の山口洋平会員の挨拶、中山会員の乾杯の挨拶によって宴会が始まった。会員44人の参加の下、新年の幕開けに相応しい和やかな会になった。

参加者全員で記念撮影

（渡邊 敬之）

玉名郡市歯科医師会

外傷歯牙はできるだけ残す努力を

— 学校歯科・学術合同講演会 —

２月23日（木）午後７時30分より玉名文化センターにて学校歯科・学術合同講演会が開催された。講師は大林県歯理事、国立病院機構熊本医療センターの中島健歯科口腔外科部長にそれぞれ「子供の虐待と学校歯科」、「歯牙外傷について」という演題で講演頂いた。大林講師の講演では我々歯科医師はデンタルネグレクト（歯牙の脱落、多数歯カリエス、粘膜の傷など）の疑いをもった場合は子供たちを虐待から又命を守るために、勇気をもって通報することが大事であるとの事。なにより未来ある子供達の幸せのために歯科医師だからこそできる使命があると言われた。続いて中島講師の講演では外傷を受けた歯をいかにして抜かずに保存する努力をしていると言われた。歯の外傷には①歯冠破折②歯根破折③脱臼④歯の外傷に伴う歯槽骨骨折に分類されそれぞれについて詳しく説明された。特に強調して言われたのは歯冠歯根破折歯の外科的挺出（再植）の方法で、その処置をすることで保存出来る可能性が上がり、とても優れた方法であると症例を交えて説明された。我々開業医が歯の外傷に対応する為にやるべき事を、わかり易く教えて頂きとても勉強になる講演であった。講演終了後は懇親会場に場所を移し口腔外科の話題で盛り上がった。

口腔外傷の対応を学ぶ

（永廣 有伸）

郡市会報告

球磨郡市歯科医師会

訪問診療のコツを学ぶ

―くま歯キャラバン隊―

２月24日（金）午後７時30分より、人吉市内で球磨郡主催の「くま歯キャラバン隊」を、県歯より松本理事を講師として迎え開催した。

講演内容として訪問診療の際に必要な基礎知識を軸に、高齢者特有の疾患や対処法など平日の夜の講演であるため短時間ではあるが、訪問診療のコツを懇切丁寧に教授してもらった。

松本理事の講演後には清水県歯社保委員長より、関連の保険請求に関しての解説や注意点などの説明があり講演を締めくくった。

講演後に開かれた懇親会においても、松本理事を囲み訪問診療のディスカッションで大いに盛り上がった。

松本理事により訪問診療のコツを伝授

（塚本　卓也）

お知らせ

日歯8020テレビ「歯科技工士のお仕事」配信のお知らせ

日歯８０２０テレビ（http://www.jda.or.jp/tv/）には、国民向けホームページの動画番組が定期的に配信されております。

３月・４月と「歯科技工士のお仕事」をテーマにした番組が配信されることになりました。その他、様々な番組が配信されておりますので、この機会に是非一度ご覧ください。

ご　訃　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

内藤　幸二 先生
平成29年２月24日　ご逝去　64歳

- 郡　市　名：山鹿市
- 入会年月日：昭和62年４月21日

会　務　報　告

自　平成29年１月23日
至　平成29年２月19日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	１月24日	県老人クラブ連合会「健康づくりリーダー等」研修会（県総合福祉センター）	宮坂副会長
	25日	第21回理事会 【承認事項】 （１）新入会員の承認（２）熊本地震報告書編集委員会の設置 （３）名義後援使用依頼及び歯科医師の派遣 【議　　題】 （１）第184回日歯臨時代議員会における「地区代表事前質問について」 （２）在宅医療普及啓発に伴う歯科医療機関の募集 （３）くまモンandよ坊さんバッジの作製　ほか	浦田会長他松本・赤尾・椿理事を除く全役員
	27日	くまもとスマートライフプロジェクト推進啓発企業向けセミナー（熊日本館ホール）	渡辺専務理事
		玉名郡市歯会新年会（司ロイヤルホテル）	浦田会長、渡辺専務理事
	28日	新入会員研修会（施設基準届出に係る研修会） 受講者：88名（新入会員19名、新入会員以外69名）	浦田会長、中嶋副会長、渡辺専務理事、松本・井上・田中・椿理事、犬束委員
		月次監査 （１）12月末会計現況監査	久々山・西野監事
		県歯科技工士会創立60周年記念式典・祝賀会（ホテル日航熊本）	小島副会長
	30日	九州地方社会保険医療協議会熊本部会（熊本市国際交流会館）	中嶋副会長
		会計打合せ （１）職員定年退職後の待遇	渡辺専務理事、八木常務理事、吉永会計士
	31日	日歯予算決算特別委員会第２回正副委員長打合会	浦田会長
		日歯第３回予算決算特別委員会	浦田会長
	２月１日	第２回県医療審議会（県庁）	浦田会長
		第38回常務理事会 （１）外部からの会館使用申込（２）熊本県警察本部からの「防犯カメラの設置」の勧奨 （３）平成28年度第２回各郡市会長・専務理事連絡会議事前質問に対する回答　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員、松本理事
	４日	第２回各郡市会長・専務理事連絡会議	浦田会長他中嶋副会長を除く常務理事以上全役員
	７日	日歯予算決算特別小委員会	浦田会長
	12日	広島県歯会創立110周年記念式典、創立110周年・新会館竣工記念祝賀会 （リーガロイヤルホテル広島）	浦田会長
	13日	ＰＦＡ国際歯学会日本部会・西原氏との面談 （１）義援金に関する相談	浦田会長
		第５回熊本地震見舞金・義援金給付検討臨時委員会	小島副会長、久々山・西野監事、渡辺専務理事、八木常務理事
		本会事業・会計監査 （１）Ｈ29．１月末現況監査	久々山・西野監事、浦田会長、中嶋副会長、渡辺専務理事、八木常務理事

所管	日付	摘要	出務者
総　務	14日	県体育協会第２回強化専門委員会・第３回スポーツ医科学専門委員会合同会 （水前寺共済会館グレーシア）	渡辺専務理事
		第39回常務理事会 （１）平成28年度熊本県歯科医師会会計収支補正予算書（案） （２）平成28年度臨時代議員会日程資料（３）平成28年度臨時代議員会会務報告　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員
	15日	歯科医師国民年金基金代議員会（パレスホテル）	牛島常務理事
	16日	保険医協会との懇談会（熊本市）	小島副会長他常務理事以上全役員、伊藤学院長、澤田事務局長
		くま歯キャラバン隊（玉名郡市）（玉名市文化センター） （１）正確なレセプト請求のポイント 受講者：22名	田中理事
	17日	第２回熊本地震報告書編集委員会	宮坂副会長、渡辺専務理事、田上・八木・牛島常務理事、竹下・宮井・宇治理事
	18日	第２回九州各県会長会（長崎市・サンプリエール）	浦田会長
		第２回九地連協議会（長崎市・サンプリエール）	浦田会長、宮坂副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、澤田事務局長
	19日	九州各県事務局長連絡会（長崎県歯会館）	澤田事務局長
学　術	１月27日	学術委員会 （１）平成29年度事業計画（２）３／12有料講演会（３）顎骨壊死ポスター作製	井上理事、堀川委員長他５委員
	２月８日	第４回日歯学術委員会	牛島常務理事
	16日	第74回医歯連携セミナー（国立病院熊本医療センター）	井上理事
社会保険	１月25日	第２回日歯社会保険委員会	椿理事
	27日	社会保険委員会 （１）会員向け発行物（２）指導立会者、個別相談対応（３）社会保険講演会　ほか	田中・椿理事、清水委員長他11委員
	28日	社会保険個別相談会 相談者：２名	清水委員長他５委員
	29日	社会保険講演会 受講者：207名 演題：「SPTの学術的留意点、保険請求」講師：東歯科医院（熊本市）　東 克章　院長	中嶋副会長、田中理事、清水委員長、園田委員
	２月６日	レセプトチェックセンター（荒尾市） 相談者：１名	田中理事
	７日	社会保険個別相談会（益城町） 相談者：１名	野田副委員長
	９日	保険個別指導（KKRホテル熊本）	橋本副委員長、渡辺・伊藤委員
	18日	社会保険小委員会 （１）社会保険講演会打合せ	中嶋副会長、園田委員
地域保健	１月25日	都道府県地域保健・産業保健・介護保険担当理事連絡協議会	赤尾理事
	26日	青山製作所熊本工場事業所健診（高森町） 受診者：８名	片山公則会員
	28日	子育てすくすくこども博　歯科相談（宇土シティモール）	近藤・立山・村田・松岡・中野・古田委員（宇土郡市）
	29日	子育てすくすくこども博　歯科相談（宇土シティモール）	二宮委員長、小田・蔵本・高水間・伊藤・志方委員
	２月２日	青山製作所熊本工場事業所健診（高森町） 受診者：９名	片山公則会員
	６日	県糖尿病対策推進会議（テルウェル熊本ビル）	赤尾理事
	10日	日本銀行熊本支店事業所健診（日本銀行熊本支店） 受診者：21名	西会員
	17日	地域保健小委員会 （１）医療機関連携事業評価会議の開催（２）生活歯援プログラム打合せの開催 （３）H29後期高齢者歯科口腔健康診査事案の健診項目・健診科	赤尾理事、二宮委員長他全委員
広　報	１月23日	広報小委員会 （１）会報２月号編集・第２校校正（２）今後の会報作成等日程	竹下理事、永廣副委員長他２委員
	２月９日	広報小委員会 （１）会報３月号編集・第１校校正	竹下理事、岩崎委員長他２委員
学校歯科	１月23日	歯及び口腔の健康づくり指導（菊陽町立菊陽西小学校） （１）むし歯予防及び歯肉炎予防講話、歯磨き指導	緒方真弓他歯科衛生士３名
	24日	歯及び口腔の健康づくり指導（菊陽町立菊陽西小学校） （１）むし歯予防及び歯肉炎予防講話、歯磨き指導	緒方真弓他歯科衛生士３名
		歯及び口腔の健康づくり指導（阿蘇市立一の宮小学校） （１）歯磨き指導	宇治理事他歯科衛生士１名
	25日	歯及び口腔の健康づくり指導（飯野小学校） （１）むし歯予防及び歯肉炎予防講話、歯磨き指導	矢毛石陸男会員
	31日	歯及び口腔の健康づくり指導（阿蘇市立一の宮小学校） （１）歯磨き指導	宇治理事他歯科衛生士１名
	２月１日	歯及び口腔の健康づくり指導（菊陽町立武蔵ヶ丘北小学校） （１）むし歯予防及び歯肉炎予防講話、歯磨き指導	山口会員
	２日	歯及び口腔の健康づくり指導（山都町立蘇陽小学校） （１）むし歯予防及び歯肉炎予防講話、歯磨き指導	甲斐義久他歯科衛生士１名
		歯及び口腔の健康づくり指導（阿蘇市立一の宮小学校） （１）歯磨き指導	宇治理事他歯科衛生士１名
	６日	歯及び口腔の健康づくり指導（木山中学校） （１）歯磨き指導	有吉伸子他衛生士１名

所管	日付	摘要	出務者
学校歯科	7日	歯及び口腔の健康づくり指導（木山中学校） （1）歯磨き指導	有吉伸子他衛生士1名
		歯及び口腔の健康づくり指導（阿蘇市立一の宮小学校） （1）歯磨き指導	宇治理事他歯科衛生士1名
	8日	歯及び口腔の健康づくり指導（阿蘇市立一の宮小学校） （1）歯磨き指導	宇治理事他歯科衛生士1名
		歯及び口腔の健康づくり指導（木山中学校） （1）歯磨き指導	有吉伸子他衛生士1名
	14日	歯及び口腔の健康づくり指導（阿蘇市立一の宮小学校） （1）歯磨き指導	宇治理事他歯科衛生士1名
		歯及び口腔の健康づくり指導（阿蘇市立内牧小学校） （1）むし歯予防及び歯肉炎予防講話、歯磨き指導	武藤会員他歯科衛生士1名
	15日	日学歯加盟団体長会（日歯会館）	浦田会長
	17日	学校歯科医員会 （1）むし歯予防全国大会（2）ポスター作成案（3）担当者会議開催	大林理事、河原委員長他全委員
医療対策	2月15日	医療対策委員会 （1）事例報告検討（2）各郡市医療相談担当者会（3）熊大口腔外科連絡協議会　ほか	小島副会長、岡田委員長他全委員
センター・介護	1月25日	都道府県地域保健・産業保健・介護保険担当理事連絡協議会（日歯会館）	松本理事
	27日	センター運営についての打合せ会 （1）口腔保健センターの運営	小島副会長、松本理事
	2月2日	センター・介護委員会 （1）平成28年度委託事業最終確認（2）障がい児（者）推進会議 （3）センター運営　ほか	松本理事、平井委員長他6委員
	3日	カルテチェック（口腔保健センター）	松岡センター長
	4日	障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業歯科健診 （こどもサポート広場ぐんぐんロケット）	平井委員長他歯科衛生士3名
	7日	第11回県在宅医療連携体制検討協議会（ホテル熊本テルサ） （1）在宅医療の推進（2）地域医療構想（3）意見交換	松本理事
	10日	センター運営についての打合せ会 （1）口腔保健センターの運営（2）障がい児（者）推進会議	松岡センター長、松本理事他2名
	11日	介護者歯科実技研修会（人吉会場）（中小企業大学校人吉校） 受講者：63名 講　師：村田歯科医院　黒岩 恭子　院長	宮坂副会長、松本理事、平井委員長他1名、人吉市・中原副会長
	12日	介護者歯科実技研修会（八代会場）（熊本総合病院ホール） 受講者：80名 講　師：村田歯科医院　黒岩 恭子　院長	宮坂副会長、松本理事、平井委員長他3名、八代市・水上会長
	15日	県老人クラブ連合会第2回健康・生きがいづくり支援事業推進委員会（県総合福祉センター）	宮坂副会長
	18日	障がい者歯科保健推進協議会	
	19日	認知症対応力向上研修会 受講者：62名 講　師：熊本医学部附属病院神経精神科　田中 響　特任教授 済生会八幡総合病院　尾崎 由衛　歯科部長	小島・宮坂副会長、松本理事、平井委員長他1委員
厚生･医療管理	2月6日	厚生・医療管理委員会 （1）就業規則の見直し（2）医療管理だより	牛島常務理事、宮井理事他全委員
総務･医療連携	1月23日	がん診療医科歯科連携運営協議会 （1）がん医科歯科連携の検証（2）アンケート	牛島常務理事、宇治理事、三森委員長、神崎副委員長
	26日	「回復・維持期リハを考える会」と「地域完結型の治療とリハビリテーションを考える会」合同会（くまもと県民交流会館パレア）	牛島常務理事、宇治理事
	2月2日	回復期病診連携歯科衛生士対象研修会 受講者：92名 講　師：日本赤十字広島看護大学　迫田 綾子　特任教授	牛島常務理事、宇治理事、三森委員長他3委員
	8日	第4回日歯がん診療医科歯科連携推進協議会	牛島常務理事
学　院	1月23日	第3回学院運営審議会	浦田会長、伊藤学院長、中嶋・宮坂副会長、渡辺専務理事、牧・林副学院長、弘中教務部長他2名
	28日	学院戴帽式 第52期生：56名 来賓：17名	伊藤学院長、浦田会長、牧・林副学院長、弘中教務部長他3名、澤田事務局長
	2月4日	学院一般一次・社会人入学試験 受験者：5名	
	7日	第3回学院入学試験委員会 （1）平成29年度一般一次・社会人入学試験合格者の決定	伊藤学院長、中嶋・宮坂副会長、渡辺専務理事、牧・林副学院長、弘中教務部長
	12日	第2回歯科衛生士リカバリー研修会 実習受講者：20名 講　師：西南学院大学　田原 直美　准教授	伊藤学院長、工藤委員長
国保組合	1月30日	第5回国保理事会	浦田理事長全役員
	2月6日	第2回医療保険者等における番号制度導入に関する説明会（東京・ＪＡ共済ビル）	田尻課長補佐
	8日	全協理事長・役員研修会（アルカディア市ヶ谷）	浦田理事長
	13日	国保組合監査	原田・片山理事、浦田理事長、桑田常務理事
		第6回国保理事会	浦田理事長他全役員
	14日	国保連合会理事会（KKRホテル熊本）	浦田理事長
事 業 課	1月30日	KDMUセミナー 受講者：5名	八木常務理事

会員専用グループ保険のご案内

随時加入募集中

グループ保険　Ⅰ 団体定期保険　Ⅱ 新医療保障保険団体型

Ⅰ 団体定期保険

充実した保障内容
合理的な 死亡保障 の確保に！

最高3000万円の保障（無診査）が70才まで新設されました

保険金額の増減は毎年自由に変更できます

① 割安な保険料で高額保障
災害に起因する死亡の場合は、災害保険金が上乗せされます

② 最高75歳まで継続更新可能

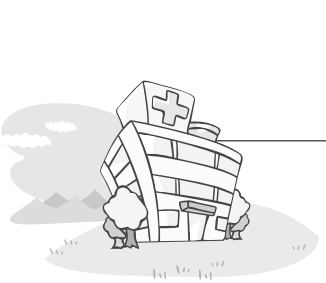
③ 障害給付金･高度障害保険金も準備されます

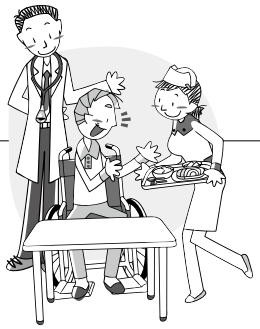
35年以上の長期にわたり、熊本県歯科医師会で会員のために継続している福利厚生制度です。

随時加入できます

Ⅱ 新医療保障保険団体型

ニーズの高い病気入院の保障が
低価格で プラスできます！





① 疾病・傷害、いずれも保障の対象！

② 入院給付金は１日目からお支払します

③ 1入院60日限度　通算1,000日分まで保障

本人プランは入院1日15,000円まで保障

④ 最高89歳まで継続更新可能

⑤ 配偶者･お子様もご加入可能

この保険は当グループ内で１年ごとに収支計算を行ない **剰余金が生じたときは配当金として加入者全員に還元**しています。

お問い合わせ

熊本県歯科医師会 事務局　担当：奥村　TEL096-343-8020

「MJRザ・ガーデン大江」モデル

LOCATION | JT跡地の再開発で、暮らしの利便性が高まった大江。

※徒歩分数は約80m=1分で計算(端数は切り上げ)しています。

ゆめタウン大江/徒歩6分(約440m)

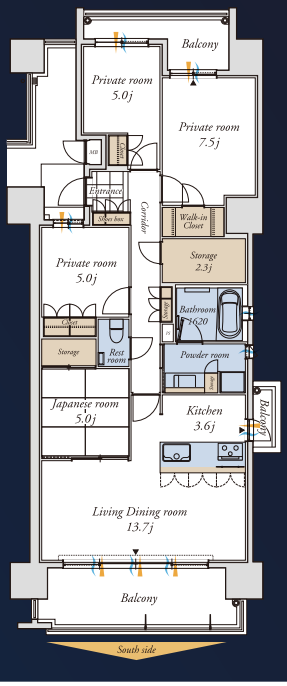
大江小学校/徒歩9分(約690m)

白川中学校/徒歩7分(約540m)

スターバックスコーヒー熊本大江店
徒歩5分(約360m)

熊本市立図書館
徒歩16分(約1,220m)

ROOM PLAN | 南向き中心で



※現地南側の県営山の上団地は白線で表現しています。
※完成予想図は図面を基に作成したもので、形状・色等は実際とは異なります。外観形状の細部・設備機器等は表現しておりません。また表現されている植栽は竣工から初期の生育期間を経た状態を想定して描いております。竣工時は植物の生育を見込んで必要な間隔をとって植えております。

【物件概要】●名称／MJRザ・ガーデン大江●所在地／熊本市中央区大江二丁目1900番1(地番)●交通／熊本市電「九品寺交差点」電停より徒歩16分、「大江住宅前」バス停より徒歩1分●用途地域／近隣商業地域・第2種中高層住居専用地域●構造・規模／鉄筋コンクリート造、地上14階建●敷地面積／5,928.99㎡●建築面積／2,005.16㎡●建築延床面積／18,947.23㎡●総戸数／193戸●建築確認番号／第ERI16001839号(平成28年2月25日取得)●駐車場／総戸数193戸に対して193区画203台〔内10区画は縦列駐車〕別途来客用2区画(月額使用料(税込)／1,000円～19,500円)●大型バイク置場／総戸数193戸に対して4台(月額使用料(税込)／1,000円)●バイク置場／総戸数193戸に対して15台(月額使用料(税込)／700円)●自転車置場／総戸数193戸に対して254台(平置き1 37台、ラック式117台)●分譲後の権利形態／敷地は共有、建物は区分所有●管理形態／区分所有者全員により管理組合を結成し管理会社に委託●管理会社／JR九州ビルマネジメント株式会社●建物竣工時期／平成30年2月中旬予定●引渡・入居時期／平成30年3月中旬予定●事業主・売主／九州旅客鉄道株式会社福岡県知事(1)第17216号(公社)福岡県宅地建物取引業協会会員(一社)九州不動産公正取引協議会加盟〒812-8566福岡市博多区博多駅前3丁目25-21博多駅前ビジネスセンター●販売提携(代理)／株式会社福岡プロパティエージェント福岡県知事(2)第16298号(公社)全日本不動産協会会員(一社)九州不動産公正取引協議会加盟〒812-0011福岡市博多区博多駅前3丁目25-21博多駅前ビジネスセンター4F●設計・監理／ケイツーデザイン株式会社●施工会社／株式会社錢高組九州支店 【第1期販売概要】●販売戸数／21戸●販売価格(税込)／2,880万円(1戸)～6,180万円(1戸)●最多販売価格帯(税込)／3,300万円台(3戸)●間取り／3LDK(8戸)・4LDK(13戸)●専有面積／72.57㎡(1戸)～127.97㎡(1戸)●バルコニー面積／11.04㎡(1戸)～43.74㎡(1戸)●ポーチ面積／1.19㎡(1戸)～2.73㎡(1戸)●管理費(月額)／4,300円～7,600円●修繕積立金(月額)／5,100円～9,000円●修繕積立基金(引渡時一括)／255,000円～450,000円●広告有効期限／平成29年4月末日●広告制作日／平成29年2月28日

大江の美しい象徴となるレジデンスを。

都心の利便性と並木の潤い。そして、文教を纏う「大江」を継承するアドレスに、
熊本最大級、全193邸のレジデンス、誕生。

ルーム好評公開中

MJR
THE GARDEN
大　江

熊本県歯科医師会
会員のみなさまへ

JR九州の新築分譲マンション
「MJRザ・ガーデン大江」のご案内

全18タイプの多彩なプランをご用意。

I TYPE | 4LDK

□専有面積 94.36㎡
（約28.54坪）

□ポーチ面積／2.52㎡（約0.76坪）
□バルコニー面積／19.49㎡（約5.89坪）
□販売価格 3,790万円（税込）～

敷地内駐車場
月額1,000円～

N 通風 採光

PREMIUM LIFE STAGE

OWNER'S LOUNGE

COMMUNITY ROOM

FITNESS ROOM

PARTY ROOM

自分らしいスタイルで楽しむ、
交流を育むステージが此処に。

［事業主・売主］
JR九州 九州旅客鉄道株式会社

［販売提携（代理）］
株式会社 福岡プロパティエージェント

2015 2016
2年連続 マンション販売戸数 九州地区 第1位
※「2015、2016年版九州・山口7県マンション市場動向とその方向」住宅流通新報社調べ

お問い合わせ・資料請求はフリーダイヤルまたはホームページへ
0120-820-540
営業時間 10:00～18:00 〈水曜定休〉
MJR 検索

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
April 2017 No.730

笑顔ヘルC 8020運動からはじめる

5 主な行事予定 May

2日（火）	第44回常務理事会
17日（水）	第45回常務理事会
20日（土）	創立110周年記念講演会・式典・記念祝賀会（ホテル日航熊本）
24日（水）	第25回理事会

©2010 熊本県くまモン #K6356

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

編集者のつぶやき

学生の頃、美里町の3333の階段を登ってから今も家族や友人やスタッフと年に数回は登っている。最初は、県外の友達に熊本の忘れられない思い出作りのために面白半分で連れて行ってたものだが今はそれだけではない。登りきった達成感、ビール指数（ビールを美味しく飲むための指数）を上げるため、ダイエット…自己満足もあるが…子供が4歳になると一人で登り降りをさせる。もちろん最初はオモチャをエサにするのだが小学生になると自分より早く登り降りする。子供が長い人生大変なことがあったとき頑張れる力をと…少し早い気もするが…。年頃の子供達には父親の苦しんでる姿を見せることも大事な気がする。パパも頑張ってるんだと…友達には日頃中々話せない悩みやグチをなぜか登ってるときに言い合える。お互い大変ね。頑張ろうねっ！スタッフともキツいキツいと言いながらいろんなことを話せて沢山コミュニケーションがとれる。次の日は、診療中みんな足を引きずる姿がお互い笑えて院内がにぎやかになる…（笑）。スタッフには、必ず温泉の後、バーベキューもしくは美味しいものをケチケチせず食べさせるようにしている。日頃の感謝の気持ちを忘れずに！1週間ぐらいは普通に歩けないが、階段はいろんなことを与えてくれる素敵なところだと実感する。毎日仕事に追われる中大事なことを忘れてないですか？家族や友人、スタッフを誘って登ってみてはいかがでしょうか？

（Y. T）

■発行日／2017年4月5日発行　■発行人／浦田　健二
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020　FAX／096-343-0623
URL／http://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷